

## 目標達成計画

作成日: 令和2年4月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の参加者が職員のみになりがちであるため、議題も職員が理解しやすいテーマに偏る傾向にある。	ホーム外部からの出席者を増やし、議題をホームに関わる外部の人たちでも参加しやすいテーマで開催することで、ホーム運営を客観的にみた意見等を取り入れられる会議を開催する。	実際に地域との関りにおいて、防災等課題と取り組みが具体的になっているところから着手し、ホームの外部の方々を迎えた運営推進会議に向け、個別にその趣旨を説明させていただき、参加を促していく。	12ヶ月
2	35	大災害において地域全体が麻痺状態になると想定した場合、備蓄、消防訓練、自治体との連携だけでは防災において不十分である。	学区の消防団と関係性を構築し、災害時において連携がとれる状態を作る。	運営推進会議を活用し、学区の消防団との情報、意見交換を経て、関係性を深め、連携が取れるようその指針を作っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。